

**あなたも  
認知症サポーターになろう！**

市では、認知症の理解を深め、地域で認知症の人とその家族を温かく見守る認知症サポーターの養成講座を開催しています。認知症は脳の病気で、認知機能や生活機能の低下からさまざまな症状が現れます。あなたも認知症の知識と認知症の方への対応の仕方を学んでみませんか。



(受講者へは、認知症サポーターの証であるオレンジリングを差し上げます)

**徘徊模擬訓練とは？**

認知症高齢者の徘徊による行方不明が発生したと想定し、徘徊者に遭遇した時の対応を学ぶための「声かけ体験」と「敦賀みまもりネットワークの情報連携訓練」を行うものです。



▲徘徊者役がまちを歩きます。見つけたらやさしく声をかけます。(声かけ体験)

▼メールを配信し、協力機関に早期の発見の協力を呼びかけます。(情報連携訓練)



市では「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指して、行方が分からなくなった認知症高齢者の方等を早期に見守るためのネットワーク(敦賀みまもりネットワーク)と、認知症の方を正しく理解し対応を学ぶための取り組みを進めています。この取り組みの一環として、『認知症サポーター養成講座』と『徘徊模擬訓練』を実施します。

今回の徘徊模擬訓練は、本町1丁目の皆さんの協力を得て実施します。他の市民の方も、ぜひ一緒にご参加ください。



**認知症サポーター養成講座**

とき 10月9日(水)  
16時～17時30分

ところ 南公民館

※要申込み(介護保険課まで)

**徘徊模擬訓練**

とき 10月19日(土)  
13時30分～15時30分  
(受付：13時～)

ところ 本町1丁目  
(集合場所：本町会館 本町2丁目2-1)

※徘徊模擬訓練に参加された方には、認知症サポーターとして、オレンジリングを差し上げます。

**敦賀みまもりネットワークをご存知ですか!?**

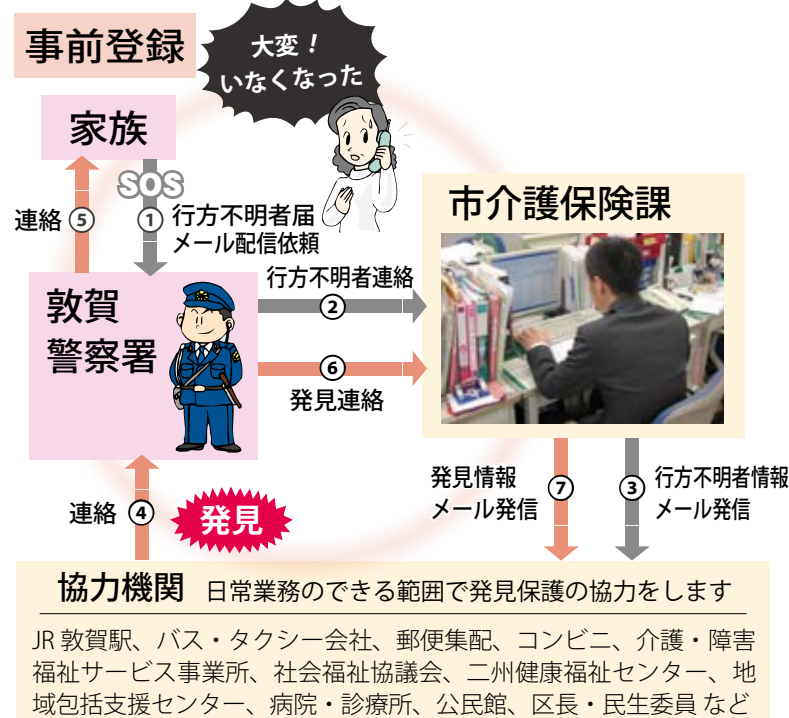
市民の方が理解しやすく親しみやすい名称にと、徘徊等 SOS ネットワークシステムを6月から『敦賀みまもりネットワーク』に変更して活動しています。

**敦賀みまもりネットワークとは？**

行方不明になる可能性のある方(認知症高齢者や障がい者など)の名前や特徴、写真などの情報を事前に登録し、所在が分からなくなった時に、協力機関の協力を得て、早期発見に役立つネットワークです。

**事前登録をしましょう！**

利用するには登録が必要です。事前に登録することで、情報連携が迅速に行われ、早期発見につながります。登録を希望される方は、介護保険課までお問い合わせください。



問合せ・届出先 介護保険課 ☎ 22 - 8181

**認知症になっても  
安心して暮らせるまちへ**



昨年、私も徘徊模擬訓練に参加しました

アイホームゆうゆう 木奇 廣子さん



— 参加したきっかけは？  
職場の利用者に認知症の方が多く必要性を感じていましたので、良い機会だと思い参加しました。

— 訓練ではどんな事をしましたか？  
認知症の方が徘徊していると施設に連絡が入り、業務のできる範囲で目配りをして徘徊者役を探しました。

— 参加して気づいた点や難しかったことは？  
あらかじめ徘徊のエリアを知っていましたが、実際に徘徊者役を探すのは難しかったです。万が一のときを考えると、徘徊者の服装など多くの情報が欲しいと感じました。

— 徘徊模擬訓練を行うことについてどう思いますか？  
認知症に対する理解を広げることができると良いと思います。認知症への理解が進めば、正しい接し方も分かります。また、家族や周りの方も、万が一、徘徊で行方不明になったとき、どうしたらいいかを考えるきっかけにもなると思います。市民の中に認知症への理解が広がることにつながっていくと思います。

訓練に参加して、意識的に探したりすることは、実際にやってみて自分の中に根付くものだと感じました。

— 徘徊模擬訓練を行うことについてどう思いますか？